

[ご注意]

- ・本手順書はESET Smart Security 6用です。ESET Smart Security 6 以外では画面やメニュー名称が異なる場合があります。詳しくはセキュリティソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- ・Windows 8.1に対応しているのはファイナルパソコン引越し11plus以降です。



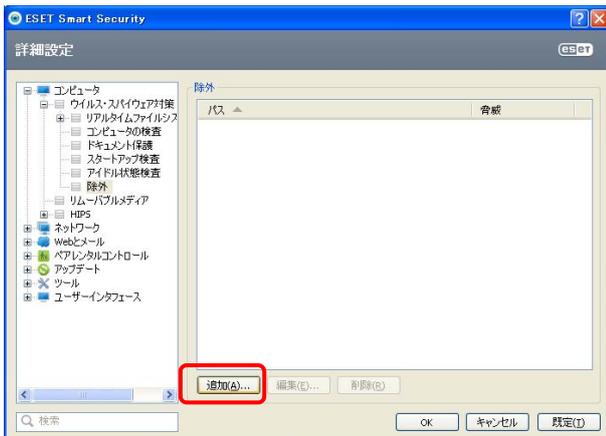
手順1.ESET Smart Securityの除外設定にファイナルパソコン引越しの関連フォルダを追加登録します。

- ① [スタート]> [すべてのプログラム]→ [ESET]→ [ESET Smart Security]→ [ESET Smart Security] を順にクリックします。
Windows 8以降の場合はデスクトップを表示させESET Smart Securityのアイコンをダブルクリックします。

- ② [設定]→ [リアルタイムファイルシステム保護]の[除外の編集] をクリックします。

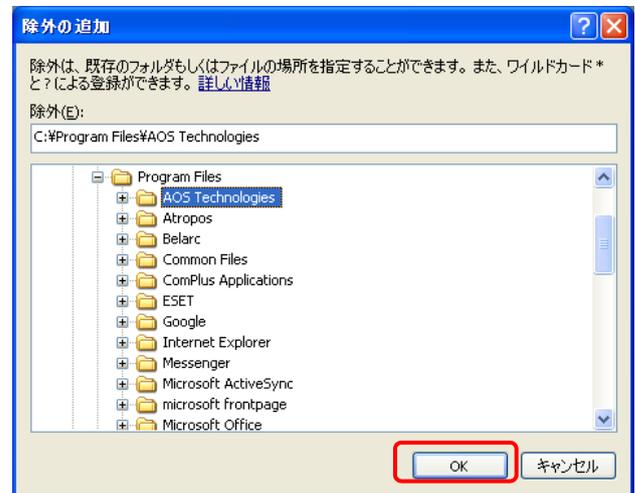


- ③ [追加] をクリックします。

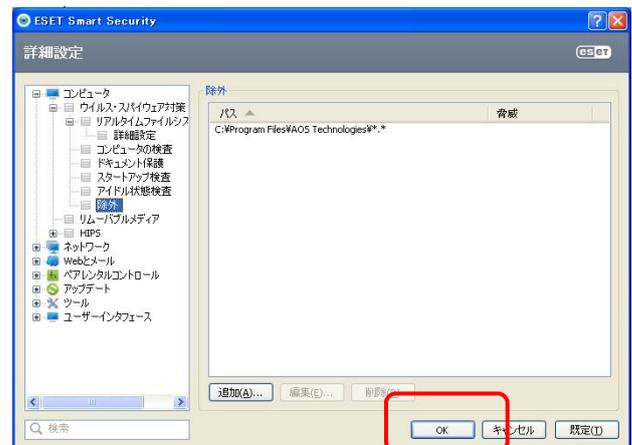


- ④ ファイナルパソコン引越しのプログラム フォルダを指定し[OK]をクリックします。既定の設定では、次のフォルダが該当します。

- 32bitOSの場合:
C:\Program Files\AOS Technologies
- 64bitOSの場合:
C:\Program Files (x86)\AOS Technologies



- ⑤ 一覧に、追加したフォルダのパスが表示されていることを確認し[OK]ボタンをクリックします。



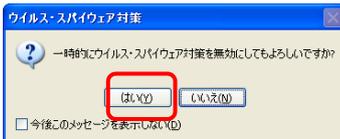


手順2.ESET Smart Securityを一旦無効にします。

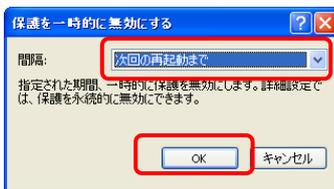
- ①[スタート]→[すべてのプログラム]→
[ESET Smart Security]→
[ESET Smart Security] を順にクリック
します。
- ②ホーム画面より、[(設定) →
[一時的にウイルス・スパイウェア対策を無効に
する]
をクリックします。



- ③[はい]をクリックします。



- ④[次回の再起動まで]をクリック後、[OK]を
クリックします。



■補足情報

左②の[一時的にウイルス・スパイウェア対策を無効にする]メニューが表示されていない場合は[設定]→コンピュータの[リアルタイムファイルシステム保護]の▼をクリック後、[再起動まで無効にする]をクリックします。



[無効]になったことを確認します。

